

令和3年度「美術 I (1年)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	美術科	芸術	美術 I	2	必修
教科書	高校性の美術1(日本文教出版)				
副教材					

学習の目的	
1	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
2	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
3	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

学習の目標	評価の割合
I 知識・技能 美術における各分野の基本的な概念について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけている。	3
C 思考・判断・表現 美術における各分野の特質について理解するとともに、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	4
E 学びに向かう力・人間性等 美術の鑑賞や表現を通して美術文化に関する理解を深め、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけている。	3

つけた力	みつめる力	感じ取ったことや考えたことから、主題を生成し表現の構想を練る力
つけた力	きわめる力	発想や構想を基に、材料や用具を生かし、創造的に表す力
つけた力	つなげる力	造形の要素の働きを理解し、イメージや作風、様式などで捉える力

評価方法	I	C	E
◇ 主に作品と振り返りの記述等で知識及び技術の中間・最終の評価を行います。	○		○
◇ エスキースとワークシートを基に主題の生成や構想、表現に向けた判断力等を評価します。		○	
◇ 進捗状況、グループワークの様子、自己評価等をもとに絵画への関心・意欲・態度等を評価します。			○

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 実習が中心の授業となります。指示された画材は各自で準備してください。専門の道具などは指導者の指示に従い、注意して手入れしてください。
◇ 授業以外にも制作時間を十分にとって、完成度を高めてください。
◇ 内容に応じて、他の専門科目と展開授業を行います。
◇ 制作終了時に講評会を行います。講評の際はメモを用意してください。
◇ エスキースや資料集め、動画視聴等の予習が必要な場合があります。指示に従って事前準備をしてください。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力
第1学期	4	描画材(鉛筆、木炭)の準備と使用方法 木炭デッサン(ラポルト)	木炭デッサンの基礎演習を通して、形を修正しながら描き進める姿勢を養う。		見ること、描くことの意味を考えよう	○	○	○
	5	静物画(F15・油彩)	油絵の具の基本的な使い方、用具のメンテナンス等を学ぶ。		平面に空間を表現する意味を考えよう	○	○	○
	6							
	7	読書感想画	モダンテクニック等のを学び、表現の幅を広げるとともに作品の完成度(密度)を上げていく。		自分自身の心情と向き合い表現につなげよう	○	○	○
第2学期	9	技法研究(静物・油彩)	油絵の具の基本的な使い方、用具のメンテナンス等を学ぶ。		材料の特徴を活かし、平面に空間を表現する意味を考えよう	○	○	○
	10							
	11							
	12							
第3学期	1	大作(F30)制作	主題を生成し、テーマに合った表現を探究する		自己の作家性を育てよう	○	○	○
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。